

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	子育て支援 [Child care support]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750170	授業形態	演習	単位数	1	配当学年	2年次
教員氏名	若宮邦彦			学位授与の方針 との関連	DP3(1) DP3(2) DP3(3) DP3(4)		
授業概要	<p>この講義の目的は多様な保育・子育てニーズに対応するために保育の専門性を背景とした相談支援の特性と具体的展開方法を学ぶことです。【態度・志向性の育成】また、地域子育て支援や多職種連携の意義についても学ぶ際に要保護児童対策地域連絡協議会委員やコミュニティソーシャルワーク実践に携わっていた際の内容も授業に取り入れれます。</p> <p>保育者が行う子育て支援について、様々な場や対象者に即した支援の内容と方法、及び技術を実践事例等を通して講義します。【知識・理論の育成】また、療育等支援事業や巡回相談支援で携わっていた際の、子育て相談の実践内容も授業に取り入れれます。</p>						
関連する科目	社会福祉、社会的養護Ⅰの履修が望ましい。履修後は社会的養護Ⅱの理解が望ましい。						
授業の進め方と方法	アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では、子育て支援の必要性と基本的な支援方法を習得する。【知識・理論の修得】後半では保護者支援におけるケースワーク理論を習得する。【知識・理論の修得】事例検討やロールプレイ、探求学習(個人ワーク・グループワーク)等を通じ、理論知を実践知に関連付けながら理解します。【汎用的技能の育成】						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 子育て支援の基本的姿勢</p> <p>第3回 子育て支援の基本的技術</p> <p>第4回 特別な支援を必要とする家庭への支援 障害のある子どもを育てる家庭、養育上の不適切な関りがある保護者の事例を通じて学びます。</p> <p>第5回 相談援助における面接の意義、コミュニケーション、援助関係について</p> <p>第6回 面接とコミュニケーション。</p> <p>第7回 自己覚知のスーパービジョン(ワークショップ) 言語的・非言語的コミュニケーションの基礎、具体的な応用方法についてワークショップやロールプレイで学び、専門職に求められる自己覚知の意義を学びます。</p> <p>第8回 社会資源の活用と関係機関、専門職との連携の意義。 ファミリーソーシャルワーク、ケアマネジメントに関する知識を事例を通じて学びます。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 子育ての現状と課題に対する子育て支援の意義と必要性、支援者の役割、保育の専門性を生かした子育て支援の方法と技術を理解する【知識・理論の育成】</p> <p>2. 社会福祉専門職である保育士が担う保護者支援におけるケースワークの基礎理論、多職種連携のためのネットワークの方法と技術を理解する【姿勢・志向性の育成】</p>						
授業時間外の学修	授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示します。テキスト並びに配布資料について授業毎に20分程度の予習・復習をしてください。授業内容に関連した図書・資料等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。						
課題に対するフィードバック	レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。	評価方法		学習意欲40点、定期試験30点、レポート提出20点、ワークショップ等10点			
テキスト	西村重稀・青井夕貴 編 新基本保育シリーズ『子育て支援』中央法規出版、2019年 その他、適宜レジュメを配布する。						
参考書	井村圭壯・相澤譲治編著 『社会福祉の相談援助』久美株式会社、2012年 小原敏郎・橋本好市・三浦主博編集 『演習・保育と保護者への支援』株式会社みらい 2017年						
備考							